

●基本情報

事業名(取組名)	大学との連携事業			評価番号	5-1-4-1	
担当課	政策企画課	係	地域振興係	<input type="checkbox"/> 予算なし		
基本計画	基本方針	【5】みんなが主役でともに進むまちづくり			会計	【01】一般会計
	基本施策	【1】町民参加体制の充実			款	【0102】総務費
	施策	【4】日本ウェルネススポーツ大学との連携強化			項	【010201】総務管理費
	主な取組	①大学との連携事業の推進			目	【01020107】地域振興費
			事業	大学との連携事業		

●計画 ~PLAN~

根拠法令等	<input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/> あり	名称			
新規・継続	<input type="radio"/> 新規 <input checked="" type="radio"/> 継続	事業開始年度	平成 24 年度	<input type="checkbox"/> 事業開始年度不明	
事業期間	<input type="radio"/> 期間限定あり (事業終了年度: 令和 年度)		<input checked="" type="radio"/> 単年度繰り返し	<input type="radio"/> 単年度のみ	
実施手法 (すべてチェック)	<input checked="" type="checkbox"/> 町が直接実施(直営) <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託) <input type="checkbox"/> 補助金等 <input type="checkbox"/> 町民協働 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 事務局 <input type="checkbox"/> その他 ()				
実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 町単独 <input type="checkbox"/> 国・県補助事業 <input type="checkbox"/> 国・県補助事業+町事業(上乗せ) <input type="checkbox"/> その他 ()				
事業概要	町と日本ウェルネススポーツ大学との連携に関する協定書に基づき、大学との連携事業を実施して地域活性化を図ります。				

●実施 ~D0~

事業業績	日本ウェルネススポーツ大学石田良恵教授に講師を依頼し、公開講座を1回実施しました。また、「キャンパスライフ応援マップ」を作成・配布し、学生生活支援を行いました。 日本ウェルネススポーツ大学ゴルフ部所属選手が東京オリンピックに出場し、銀メダルを獲得したことに伴い、懸垂幕を制作し、周知を行いました。 大学内での新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため支援金を交付しました。			
支出	主な歳出の節	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
	7 報償費	80,000 円	40,000 円	40,000 円
	10 需用費	103,983 円	313,410 円	181,610 円
	17 備品購入費	円	円	22,000 円
	18 負担金、補助及び交付金	円	500,000 円	1,000,000 円
		円	円	円
事業費計		183,983 円	853,410 円	1,243,610 円
財源	主な歳入の科目	令和元年度(実績)	令和2年度(実績)	令和3年度(実績)
	国支出金	円	500,000 円	1,000,000 円
	県支出金	円	円	円
	受益者負担金	円	円	円
	地方債	円	円	円
	その他	円	円	円
	一般財源	183,983 円	353,410 円	243,610 円
事業費計		183,983 円	853,410 円	1,243,610 円

●評価 ~CHECK~

妥当性	①政策目的との整合性 事業目的が上位政策（主な取組）の達成に貢献していますか。	理由	<input checked="" type="radio"/> 貢献している <input type="radio"/> 見直す余地がある 連携事業の実施により、相互の活性化が図られました。また、大学支援を実施することで、大学との連携の推進が図られました。
	②町関与の妥当性 町が事業主体として事業を行うことが妥当ですか。	理由	<input checked="" type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直す余地がある 大学連携においては、町と大学の双方が主体的に取り組むことが必要であると考えます。
有効性	③成果の向上余地 事業内容を工夫することにより成果を向上させることができますか。	理由	<input type="radio"/> 余地がない <input checked="" type="radio"/> 見直す余地がある 公開講座及びキャンパスライフ応援MAPについては、大学連携事業の一環として地域活性化に貢献していると考えます。今後は、大学との連携事業のさらなる拡充に向け、大学と協議、検討を進めます。
	④廃止・休止の可能性 事業の内容や成果から廃止・休止できますか。	理由	<input type="radio"/> 可能性がある <input checked="" type="radio"/> 可能性がない 日本ウェルネススポーツ大学は、町内唯一の大学であり、今後も連携してまちづくりに取り組むことが重要と考えます。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合・連携を図ることにより成果が期待できますか。	理由	<input type="radio"/> 可能性がある <input type="radio"/> 可能性がない <input checked="" type="radio"/> 類似事業はない
効率性	⑥事業費の削減余地 成果を下げずにコスト削減できますか。	理由	<input checked="" type="radio"/> 余地がない <input type="radio"/> 余地がある 現状の事業費で適正と考えます。
公平性	⑦受益者負担の適正化 事業内容から受益者の負担割合は適正ですか。	理由	<input type="radio"/> 適正である <input type="radio"/> 見直す余地がある <input checked="" type="radio"/> 受益者負担を求める事業ではない

●改善 ~ACTION~

今後の方向性	継続 (<input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input checked="" type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 拡大) <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 廃止(終了) <input type="radio"/> 統廃合 <input type="radio"/> 連携
	【理由】 引き続き、日本ウェルネススポーツ大学と連携して事業を実施し、相互の活性化を図るとともに、連携事業のさらなる拡充に向け、大学との協議、検討を進めていきます。